

## 18 その他

### 18- (1) 名水百選

環境省は、昭和60年3月、全国に多くの形態で存在する清澄な水について、その再発見に努め、広く国民にこれらを紹介し、普及・啓発を図るとともに、このことを通じて国民の水質保全への認識を深め、併せて優良な水環境を積極的に保全すること等今後の水質保全行政の進展に資することを目的として、全国から100ヶ所の「名水」を選定し、本県からは下表に示す3つの「名水」が選ばれました。

#### 名水百選一覧（本県分）

| 名 称           | 所 在 地   | 分類 | 概 要   |
|---------------|---------|----|---|
| 霧島山麓<br>丸池湧水  | 始良郡湧水町  | 湧水 | 霧島山麓の湧水群の1つで、湧水量は約 20 万 m <sup>3</sup> / 日と豊富、湧水は上水道・生活用水・灌漑用水として用いられている。町内会で組織する保全組合が清掃等保全管理を行っている。                |
| 屋久島<br>宮之浦岳流水 | 熊毛郡屋久島町 | 河川 | 九州の最高峰宮之浦岳を主峰とする屋久島は年間降水量が 5,000mm を越え、また原生林に覆われていることから、豊富な水量があり、安房川をはじめとして多くの河川、滝等がある。地元町でも自然環境と一体となった水環境保全に努めている。 |
| 清水の湧水         | 南九州市川辺町 | 湧水 | シラス台地急崖下からの湧水で地域住民の飲用水・生活用水・灌漑用水として利用されている。かつて、地域住民が組織した保全委員会が管理していたが、市上水源になってからは市が管理している。                          |

### 18- (2) 音風景100選

全国各地で、人々が地域のシンボルとして大切にし、将来に残していきたいと願っている音の聞こえる環境（音風景）について、音環境を保全する上で、特に意義があると認められるものを、「残したい“日本の音風景100選”」として、環境省が認定したものです。

主なねらいは、「日常生活の中で耳をすませば聞こえてくるような様々な音についての再発見を促すこと」、「良好な音環境を保全するために地域に根ざした取組みを支援すること」とされ、本県からは、「出水のツル」（出水市）と「千頭川の溪流とトロッコ」（屋久島町）が選定されています。

| 音風景の名称・所在地            | 分類 | 概 要   |
|-----------------------|----|---|
| 出水のツル<br>（出水市）        | 鳥  | 冬鳥として渡来するナベヅル、マナヅルの我が国最大の越冬地。地域の人々の永年の愛護活動により、約 1 万羽が飛来し、多数のツルの鳴き交わす様は壮観である。    |
| 千頭川の溪流とトロッコ<br>（屋久島町） | 複合 | 屋久杉の山を流れる千頭川に沿って、溪流の音の中を森林軌道のトロッコが走る。世界遺産の島・屋久島の自然にふれる“動く環境教室”として活用しようという計画がある。 |

### 18- (3) かおり風景100選

平成13年、環境省は、豊かなかおりとその源となる自然や文化・生活を一体として将来に残し、伝えていくため、かおり風景を広く募集し、そのなかから、特に優れた100地点を「かおり風景100選」として選定しました。

100選には、花や樹木、潮風、温泉、みかん・カボス・りんご等の果物などの自然の香りの

ほか、にかわ、墨、線香、茶、塩わかめづくりなどの伝統工芸や地方の特産などに関わるものなど様々なかおり風景が選定されており、本県からは、「指宿知林ヶ島の潮騒」（指宿市）と「屋久島の照葉樹林と鯖節」（屋久島町）が選ばれています。

| かおり風景の名称・所在地          | 源             | 季節  | 概要   |
|-----------------------|---------------|-----|--|
| 指宿知林ヶ島の潮騒<br>（指宿市）    | 潮<br>草木<br>樹木 | 一年中 | 鹿児島湾（錦江湾）の入り口に浮かび、干潮時には砂の道（砂州）で薩摩半島と陸続きになる無人島です。砂州を渡って多くの観光客や家族連れが訪れ、潮のかおりを満喫しています。        |
| 屋久島の照葉樹林と鯖節<br>（屋久島町） | 森林<br>潮<br>鯖節 | 一年中 | 世界自然遺産に連なる大規模な照葉樹林が集落に肉薄しており、「もののけ姫」の舞台となった白谷の森から吹きおろす風によって花のかおりが漂います。また、地元特産の鯖節のかおりも漂います。 |

#### 18-（4） 快水浴場百選

環境省は、人々が水に直接触れることができる個性ある水辺を積極的に評価し、これらの快適な水浴場を広く普及することを目的として、「美しい」、「清らかな」、「安らげる」、「優しい」、「豊か」という水辺に係る新たな評価軸に基づき、全国100カ所の水浴場を、「快水浴場（かすいよくじょう）百選」として選定しました。本県からは「脇本海水浴場（阿久根市）」、「阿久根大島海水浴場（阿久根市）」、「大浜海浜公園（奄美市）」の3カ所が選定されています。

| 名称（所在地）             | 評価  | 概要   |
|---------------------|---|--|
| 脇本海水浴場<br>（阿久根市）    | 美しい水辺 ★★★★★<br>清らかな水辺 ★<br>安らげる水辺 ★★★<br>優しい水辺 ★★<br>豊かな水辺 ★★       | 白い天然のビーチが約3kmにわたり、東シナ海に沈む夕陽が美しい海水浴場です。良好な水質を維持し、遠浅で安全面にも優れています。また、毎年6月から8月にかけて、ウミガメが産卵に上陸します。                            |
| 阿久根大島海水浴場<br>（阿久根市） | 美しい水辺 ★★★★★★<br>清らかな水辺 ★★★<br>安らげる水辺 ★★★★★<br>優しい水辺 ★★<br>豊かな水辺 ★★★ | 阿久根市街地から船で約10分、沖合3kmに浮かぶ、周囲4kmの阿久根大島に位置し、良好な水質と安全面にも優れた海水浴場です。県立自然公園に指定されている島内には、「日本の名松100選」に選定された松林があり、野生鹿とふれ合うこともできます。 |
| 大浜海浜公園<br>（奄美市）     | 美しい水辺 ★★★★★★<br>清らかな水辺 ★★★<br>安らげる水辺 ★★<br>優しい水辺 ★★<br>豊かな水辺 ★★★    | サンゴ礁の真っ白な砂浜が美しい、東シナ海に面した海水浴場です。良好な水質を維持しているほか、奄美古来の穀物庫（高倉）を模した休憩施設や野外ステージなどの施設も整備されています。奄美大島でも有数のサンセットビーチとして知られています。     |